

熊本地域の地下水についてのアンケート調査

「熊本地域の地下水についてのアンケート調査」へのご協力のお願い

熊本の宝である地下水は、熊本地域(※)11市町村に住む人々の生活を支える貴重な資源です。

この宝である地下水を未来に残すため、平成24年（2012年）4月1日、「公益財団法人くまもと地下水財団（理事長：大西一史熊本市長）」が設立され、熊本地域が一体となって地下水を守るための取り組みを推進しているところです。

このアンケート調査は、熊本地域住民の皆さまの地下水に対する意識や地下水保全の取り組みについてご意見をお聞きするもので、その結果を今後の地下水保全の取り組みに反映させてまいりたいと考えております。

皆さまには、お忙しい中大変お手数をおかけいたしますが、本アンケート調査にご協力いただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

※熊本地域とは地下水盆を共有する
熊本市、菊池市(旧泗水町、旧旭志
村)、宇土市、合志市、大津町、菊陽
町、西原村、御船町、嘉島町、益城町、
甲佐町からなる11市町村



令和3年(2021年)11月

■实施主体

この調査は、熊本県、熊本市、菊池市、宇土市、合志市、大津町、菊陽町、西原村、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町、公益財団法人くまもと地下水財団が共同で実施するものです。

■アンケート調査の対象者について

調査対象者の選定にあたりましては、令和3年(2021年)10月20日現在で熊本地域に住所を有する20歳以上79歳以下の方々の中から、3,500名を各市町村の住民基本台帳より無作為に選ばせていただきました。

いただきましたご意見・ご回答の内容につきましては、このアンケートの集計・分析のみに活用し、それ以外には使用いたしません。アンケートの回答により、個人が特定されたりすることはございませんので、率直なご意見をお聞かせください。

■アンケートの回答方法について

- ・封筒あて名のご本人が回答してください。(※代筆可能)
- ・回答は、黒の鉛筆またはボールペンなどで、この調査票に直接記入してください。
- ・内容がわからない質問や、回答したくない質問には、回答されなくてもかまいません。
(回答していないところがあっても、そのまま返送してください)
- ・ご記入後、調査票は同封の返信用封筒にいれて、令和3年11月30日(火)までに郵便ポストに投函してください。(切手は不要です)
返信用封筒に住所、氏名を記入する必要はありません。
- ・回答いただいた内容は、無記名のまま集計・分析するため、個人が特定されることはありません。

※調査の集計結果等は、公益財団法人くまもと地下水財団のホームページ等で公開いたします。

■問い合わせ先

〈調査実施担当〉

公益財団法人くまもと地下水財団 事業課 (担当：古閑(こが))

電話：096-227-6678 FAX：096-247-6661

電子メール：info@kumamotogwf.or.jp

以下、質問にお答えください。

アンケートは全部で14問あります。

回答にあたっては、該当の番号を「〇」で囲むものと、自由記載のものがあります。

◎インターネットでも回答ができます

インターネットでご回答いただきましたら、アンケート用紙の郵便での返送は不要です。
令和3年11月30日(火)までにご回答をお願いいたします。

URL:<https://forms.gle/b4SQa1khgkzjeJMr7>



熊本地域の地下水についてのアンケート調査

調査票

■ 地下水全般について

【問1】 熊本地域11市町村は地下水盆(*)を共有しており、水道水源のほぼ100%が地下水でまかなわれていることをご存じですか

1. よく知っている
2. ある程度知っている
3. ほとんど知らない
4. 全く知らない
5. 居住地の水道水源がほぼ地下水であることは知っていたが、他の市町村のことは知らなかった

*熊本市周辺の地下には、地下水の受け皿となるお盆状の形をした岩盤があり、阿蘇外輪山の西側から熊本市に至る広い範囲を包み込んでいます。これを「地下水盆」といいます。この地下水盆の中にある、菊池、植木、託麻の各台地及び熊本平野の低地部に地下水を貯留しやすい阿蘇火砕流堆積物や砂礫層が広く分布しています。

【問2】 熊本地域の地下水の成り立ちや現状について知っていますか

1. よく知っている
 2. ある程度知っている
 3. ほとんど知らない
 4. 全く知らない
- 】→ 【問2-1】にお進みください
】→ 【問3】にお進みください

【問2-1】 問2で「1.よく知っている」「2.ある程度知っている」と回答した方に質問です。
現在の地下水の現状についてどう感じられていますか（複数選択可）

1. 地下水の水量・水質ともに問題はない
2. 地下水の水量は増加している
3. 地下水の水量は減少している
4. 地下水の水質は改善している
5. 地下水の水質は悪化している
6. その他 ※その他を選ばれた方は具体的にご記入ください

**【問3】 熊本地域の地下水をはじめとした水環境に関する情報を何から得ていますか
(複数選択可)**

1. 新聞
2. 生活情報誌
3. テレビ
4. ラジオ
5. 経済誌
6. 自治体広報紙
7. 自治体ホームページ
8. 自治体のSNS
9. 公益財団法人くまもと地下水財団ホームページ
10. 公益財団法人くまもと地下水財団フェイスブック
11. シンポジウムなどの講演会や研修会
12. SNS
13. 懸垂幕や看板などの屋外広告
14. 地域イベント等での出展(パンフレット、パネル展示、地下水模型展示など)
15. 情報は得ていない
16. その他 ※その他を選ばれた方は具体的にご記入ください

[]

【問4】 熊本地域の地下水についてどのような情報に興味がありますか (複数選択可)

1. 地下水の水量について
2. 地下水の水質について
3. 地下水のおいしさについて
4. 地下水の成り立ち(仕組み)について
5. 地下水保全活動について
6. 特に無い
7. その他 ※その他を選ばれた方は具体的にご記入ください

[]

■ 地下水保全活動について

【問5】 地下水を保全するために、どのような取り組みを行うとよいと思いますか
(3つ以内で選択してください)

1. 地下水保全に関する意識啓発や学習の場を設ける
2. 水道設備への節水器具の設置など節水の取り組みを進める
3. 雨水を地下に浸透させる設備(雨水浸透ますや道路の透水性舗装等)を設置する
4. 転作田や休耕田、冬場の水田に水を張り、地下にしみ込む量を増やす取り組み
5. 雨水などの地下にしみ込む量を増やすための森林・草原などの整備を進める
6. 水田でのお米づくりなど、地下水を育む農地を保全するための取り組みを進める
7. 地下水環境保全(森林等の整備、水田の水張り等)の取り組みに対する寄付や募金
8. 地下水の量だけでなく質を保全する取り組み
9. 取り組む必要はない
10. わからない
11. その他 ※その他を選ばれた方は具体的にご記入ください

【問6】 熊本地域の共有財産である地下水が、住民・事業者・行政等の地下水保全の取り組みにより大切に守られていると感じますか

1. とても感じる
2. やや感じる
3. どちらともいえない
4. あまり感じない
5. 全く感じない

(次ページに続く)

**【問7】 熊本地域の地下水を守るためにあなたが取り組んでいることはありますか
(複数選択可)**

1. 節水
2. 水環境に関する講演会、研修会等への参加
3. 森林や草原保全に関する活動への参加
4. 雨水を浸透させるための雨水浸透ます等の設置
5. 雨水を利用するための雨水貯留タンク等の設置
6. 地下水環境保全のための寄付や募金
7. 地下水を育む農地を保全するための地下水を育む農畜産物の積極的な購入
(ウォーターオフセットの取り組み*)
8. 特に無い
9. その他 ※その他を選ばれた方は具体的にご記入ください

*水田ではお米づくりの間に田んぼに水を張っていることで、たくさんの水を地下にしみ込ませ、地下水を育んでいます。地下水を育む水田などの農地を保全することで、地下水の量を増やすことができます。

ウォーターオフセットとは、地下水を育む田畠で栽培された農産物(農産加工品)や、それを食べて育った畜産物を購入・消費することによって、使用した地下水量をまかなう取り組みです。この取り組みによって地下水を育むことは、地下水を育む農業を支えることにもつながり、さまざまな波及効果が期待できます。

【問8】 熊本地域の地下水を守るための活動に参加したいと思いますか

1. 参加したい
 2. できれば参加したい
 3. どちらともいえない
 4. あまり参加したくない
 5. 全く参加したくない
-
- 【問8-1】にお進みください
→ 【問9】にお進みください

【問8-1】 問8で「1. 参加したい」「2. できれば参加したい」「3. どちらともいえない」と回答した方に質問です。どのような活動であれば参加してみたいと思いますか（複数選択可）

1. 節水
2. 水環境に関する講演会、研修会等への参加
3. 森林や草原保全に関する活動への参加
4. 雨水を浸透させるための雨水浸透ます等の設置
5. 雨水を利用するための雨水貯留タンクの設置
6. 地下水環境保全のための寄付や募金
7. 地下水を育む農地を保全するための地下水を育む農畜産物の積極的な購入
(ウォーターオフセットの取り組み)
8. その他 ※その他を選ばれた方は具体的にご記入ください

※雨水浸透ますや雨水貯留タンクの設置には、市町村によって助成金があります。詳しくはお住まいの市町村役場にお尋ねください。

(次ページに続く)

■ 公益財団法人くまもと地下水財団に関すること

【問9】 熊本地域の市町村と連携して地下水保全に取り組んでいる
「公益財団法人くまもと地下水財団」をご存じですか

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. よく知っている | 】→ 【問9-1】にお進みください |
| 2. ある程度知っている | 】→ 【問9-1】にお進みください |
| 3. ほとんど知らない | 】→ 【問10】にお進みください |
| 4. 全く知らない | 】→ 【問10】にお進みください |

【問9-1】 問9で「1. よく知っている」「2. ある程度知っている」と回答した方に質問です。
財団で取り組んでいる事業について知っている内容は何ですか
(複数選択可)

1. 地下水の調査や研究
(江津湖の湧水量調査、水田・森林等での地下への浸透量の調査や地下水質の調査など)
2. 冬場の休耕田に水を張って地下水を育む水田湛水(冬水田んぼ)の取り組み
3. 水田オーナー制度の実施
4. ウォーターオフセットの取り組み(地下水を育む農畜産物の広報・啓発)
5. 雨水利用や雨水を浸透させる設備の設置推進のための取り組み
(熊本地域11市町村と連携した助成事業や広報・啓発)
6. 水の日記念シンポジウムなど熊本地域の地下水に関する講演会や研修会の開催
7. 地下水保全に取り組む企業等を顕彰する地下水保全顕彰制度の実施
8. 地下水に関する情報発信や意識向上のための広報・啓発の取り組み
(地域イベント等への出展やバスツアー開催、生活情報誌等での啓発記事など)
9. 地下水の採取量を把握するための量水器の設置や自噴井戸の止水バルブ設置への補助事業
10. その他 ※その他を選ばれた方は具体的にご記入ください

【問10】 公益財団法人くまもと地下水財団には、住民・事業者・行政が一体となり、地下水保全活動を支援する組織として、贊助会『くまもと育水会』があり、多くの方のご加入を募っています。あなたが贊助会の加入を検討する場合どのような取り組みがあれば加入しようと思いませんか。
最もよいと思うものを一つ選択してください。

1. 熊本地域における地下水の状況や地下水保全活動の情報が得られる
2. 地下水保全活動に参加できる
3. 地下水保全にちなんだグッズがもらえる
4. 地下水保全について学べる機会を得られる
5. 地下水かん養につながる地下水を育む農畜産物がもらえる
6. 田植えや稻刈りに参加できる
7. その他 ※その他を選ばれた方は具体的にご記入ください

【問11】 熊本地域の地下水に関するご意見や、公益財団法人くまもと地下水財団へのご意見等がございましたらご自由にお書きください。(自由記載)

(次ページに続く)

■ アンケート調査対象者の基本事項についてお聞きします

【問12】 ご年齢

- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 20歳代 | 2. 30歳代 | 3. 40歳代 | 4. 50歳代 |
| 5. 60歳代 | 6. 70歳代 | | |

【問13】 お住まいの地域

- | | | | | |
|---------|--------|--------|--------|---------|
| 1. 熊本市 | 2. 菊池市 | 3. 宇土市 | 4. 合志市 | 5. 大津町 |
| 6. 菊陽町 | 7. 西原村 | 8. 御船町 | 9. 嘉島町 | 10. 益城町 |
| 11. 甲佐町 | | | | |

【問14】 あなたは現在の地域にどのくらいお住まいですか

- | | | |
|--------------|--------------|--------------|
| 1. 5年未満 | 2. 5年～10年未満 | 3. 10年～15年未満 |
| 4. 15年～20年未満 | 5. 20年～30年未満 | 6. 30年以上 |

アンケートは以上となります。

ご協力ありがとうございました。

11月30日(火) までに返信用封筒にいれ、ご投函ください。

※記入されたご意見は、とりまとめて公益財団法人くまもと地下水財団ホームページ等に掲載します。公開にあたっては個人情報に関する表現や差別的な表現など、不適切な表現は削除いたします。